知人へのメール文/ギャラリー入口序文/フライヤー文章 日本の製造業を取り巻く状況は、実に色々です。 タイトルおよび文書の構造 作品E1 / 壁E 冊子 ボロボロの老朽工場の奥で行われる 日々の歩行、日々の線 官民タッグの国外技術流出やら、 2013年7月11~28個展 作品C1の 広報用文章 (うるさいギャラリー、fukuoka contemporary art BBS等) 重力と反力、地平と足、 そこで自分たちをリストラした企業への復讐を企てる 本レジメまとめ 2014.04.30 和田聡文 墜落する鳥 ゼロモーメントポイントと安定余裕 老人たちやら、 失われた20年を機械設計の現場に生きて、 ギャラリーオーナー 知的障害者施設で行われる大手企業向けモジュールの 佐藤恵一さんによる、 リーマンショックでトドメを刺された 手と目、紙と筆、軌跡と視覚 超低賃金組み立てやら、 昭和40年製のオッサンが、-----若い作家さんへの 本展時主題からは独立したテーマ。 商社の地方支社に囲われる 私の紹介=「変なおっさん」 人生焼け糞で美術業界に突入!! 個展タイトル 落書きと言う行為と散歩の類似について。 天才老ロボット工学者やら、 作品AB、 ハロワ通いの道すがら、 作品CD 作品B1、B2 一部に、今回展示作品の構想図を含む。 口先とフリーハンド手書きの図面のみで 拾い集めた蝉の抜け殻バケツー杯と、 または 仕様未定のまま設計製作をスタートさせる 貝殻バケツー杯とで、 既に水に落ちた私は、水の底より、 作品B1、B2 テンパった中小の社長たちやら、 イケナイ臓器を勃ち上げます!!-----性器の形状を多用 落ちていく彼らを見ていた。 大人のおもちゃを設計する 今回は涙で一杯の8点の立体と、 テーマ 20代女性ロボット技術者やら、 99枚の思い出写真、------作品F1(99枚の組写直) 私は、笑っているのか、泣いているのか、 そこに本国から電子デバイスを売り込む 落書き数点を奉納。-作品E1 作品CD 米大手メーカーの営業員やら、 惨めさ99%のポエムと 惨めさ99%=スティグリッツ「世界の99%を貧困にする経済」 無償でプロジェクトに参加しろと 愚痴の神殿が、 ポエム=長すぎるタイトル、冊子付き ドイツからメールをよこした 貴方をじっとり包囲します。 3枚組写真 30才代のベンチャー野郎やら、 私が職を 「芸術について」 古い時計装置を我らの発明だと嘘をつけと強要する 対比 いつも隣の音を 失った原因 皮膚病に犯された画像処理技術の准教授と 愚痴の空回り 聞いている。 同じ意味 作品C1、今の私 拳闘に耽る塵芥処理業者。 「私はプロじゃない。」 関連テーマの4面配置により 美術を「趣味」 「素人だから愚痴を言う 見るものを愚痴で取り囲む。 にしていた ギャラリー床中 央のパネル 私は製造業の片隅で機械設計を営むもので、 会期中投稿の広報文 ために作品を作る。」 若い頃の自分 あんなこんなで20年来の職場を失いました。 これからどうすればよいのか、 スラップスティック 同じ意味 今、私の居る、製造業の水底から眺める日本のありさまは、 ほんとうにわかりません。 (ドタバタ劇) 実にきな臭く、生臭く、奇妙で、一所懸命です。 淡い赤と青 濃い赤と青 淡く様々な色 共生は私の世代 としては無理。 壁A 冊子 作品AB 壁C 冊子 壁B 冊子 作品CD 壁D 冊子 壁D出口 冊子 けど、私は思い出す。 すみっこで すみっこで 昔 みんな死んじゃえ 浮いたり沈んだり 今 もしも愛があるならば 肺と肋骨と大胸筋ごと 死んでいるよ。 生きているよ。 切り取られた祖母の右の乳房と 「わたしの働きと同じだけの 勤めていた ご破算願望 けれども脆弱 人知れず倒産 こっそり元気な中小企業 残りの肺より呵々と吐き出される タロイモはどこ?」 大手企業と 私には無理。 彼女の笑い声と 作品A3 職を失った 風呂場にて大声で吟じられる 種子を胎む。 経済的津波の 今の私 強気と弱気が 教祖と取り巻きが 彼女の詩について。 到来後の荒地 燃料になる。 土は無い。 補完し合う。 拡張 作品B2 作品D3 作品A1 作品A2 作品B1 作品C1 作品D1 作品D2 殻を重ねて私を隠す。 既に水に落ちた私は、 わたしがあなたを食べるのならば、 わたし達があなた達を食べるのならば、 栄光に至る王の道はただ一つであり、 中央の金色は失われたが、 私たちは上昇する。 肺と肋骨と大胸筋ごと その肉は既に硬さを失う。 あなたはわたしを食べて良い。 道をたどれるのは彼ただ一人である。 我らは再びここに集う まぐわいたいから。 水の底より、 あなた達はわたし達を食べて良い。 切り取られた祖母の右の乳房と 落ちていく彼らを見ていた。 あなたがわたしを食べるのならば、 あなた達がわたし達を食べるのならば、 残りの肺より呵々と吐き出される 我らの血と彼らの肉を塗り込めて、 上昇志向を 自己卑下を利用する。 わたしはあなたを食べて良い。 彼の様に生きなければ、 私は、笑っているのか、 わたし達はあなた達を食べて良い。 彼女の笑い声と 我らの気をもて社を築く 利用する。 垂れた男根。 風呂場にて大声で吟じられる 泣いているのか。 わたしの雫を受け取るならば、 何事も成し遂げられないが、 勃った男根。 両性具有 彼は何人にも真似し得ない、 金色を称える我らの信心は、 あなたの雫を受け取ろう。 彼女の詩について。 生産者かつ消費者 社という船から あなたが卵を生む様に、 唯一無二の存在である。 喪失以前より遙かに倍加し、 ともに与え、ともに育む。 作品B3 落ちる赤い者ども ほんの2世代前の「百姓」。 わたしも卵を産むでしょう。 我ら血と肉と気の神殿は、 見あげる青い者。 祖父母の「生き方」という希望 彼は有ると無しとで記述される 彼らを梃子に膨れあがる 長雨が降る。日が照り映える。 Mind drived 私自身を含む景色。 全てのものを産み落とした。 葉裏で、皆で、眠りましょう。 benefit generator 全ての鼠の父であり、 金色の実体は喪失したが、 そのようにして、長いしとねのその内に、 (Prototype 1949) 全ての橋を渡し、 その気は遙か巨大に膨れ、 子らの園は広がる。 C1の一部立体の 1949年に世界初の 赤く上に在る者が 全ての井戸を掘り、 信徒の口のみに甘露を与え、 隠れタイトル 共生の夢。 ヘッジファンドが登場。 墜落し、 河原の柳の葉より魚を放った。 我らと彼ら、全ての者どもに君臨する 口ばかりでなく、 シェアハウス/ロングハウス/江戸期の長屋的 上昇力も沈降力も 青く下に在る者が 教団形成と銀行の信用創造。 手を使ってものを食べたい。 情報化社会における贈与交換経済。 伸び上がる。 彼が全てを形作り、 回転に換える装置。 金本位制から変動為替制への移行 壁Bに対面する壁Dに展示され、 他の誰も何一つ作らなかった。 A、B面とは方向が 元は船に乗った鳥だった。 周りで誉めそやす者、資本家 壁Bの問い「タロイモはどこ?」への回答。 彼は全てを成し遂げた。 反転し、向き合う。 昔は手足があった。 女陰/観音の形、13匹の中央に集う蝿 あなたは何も果たさなかった。 今は口だけの蛆虫である私。 彼のみが価値ある存在である。 あなたに何の価値もない。 スティーブ・ジョブス=弘法大師 =カリスマ=ハードマネー、 男根の形 作品F1 写真の写真 幾ばくの嘘 風が吹き、 あなたは要らない うしろめたさと うろうろ道の こんなところにいて ふたなりの 犬が怖くて 交接の始まり 口を濁す。 怠惰が身に付く すみっこで (99枚の組写真) 目を覚ますと 人間です。 後ろ髪 行ったり来たり。 良いはずがない。 生きていくよ。 生殖器 そちらに行けない。 目を伏せる。

米経済学者 スティグリッツの著作 「世界の99%を 貧困にする経済」

別の場所

僅かにのけぞる。

自分の状況と気分の経緯=本展示テーマの背景的状況のスナップ=序文と同じ役割